

市制施行65周年記念事業

平成29年
10月1日発行

2017年

“未来+夢” 中学生議会だより



“未来・夢” 中学生議会を開催しました。

8月8日(火)議場において、市制施行65周年記念事業の一つとして開催しました。市内8中学校から24名の議員(生徒)が、中学生の視点から本市の課題などの質問や未来に向けた提言を行いました。

市長・副市長・教育長をはじめ、普段は質問者である市議会議員も答弁者として、交通対策や商店街の活性化策などの質問に答えました。

質問・答弁の内容は、一部を抜粋・要約し、質問順に掲載しています。



安城南中学校
近藤 宰議員

商店街の活性化について

問 JR安城駅周辺の商店街を活性化させるため、「子ども目線での改革」が必要だと思えますが、市の考えをお聞かせください。

答 JR安城駅周辺の商店街の活性化は、市としても重要なテーマと認識しており、「子ども目線での改革」は、とても良い視点だと思います。

これまでも、新美南吉童話の壁画や銅像、ベンチなど、見ても触れても楽しい構造物を商店街に設置し、色彩豊かで明るい雰囲気のみちづくりを行ってきました。

また、近年では、体験型のイベントが人気となっていることからアンフォールでも子どもから、大人まで、幅広い世代が楽しめる企画を実施していきたいと考えています。

今後も「子ども目線」を大切にして、商店街の活性化に努めていきたいと考えています。



南吉童話が描かれた壁画



安城北中学校
菅原 和真議員

運転免許証自主返納支援事業について

問 自主返納者に、あんくるバス無料乗車券2年分を交付する制度を引き延ばす考えはありますか。

また、市内タクシーを、今より安価に利用できるよう、制度を見直してはどうですか。

答 あんくるバスの1ヶ月定期券は1000円で、自家用車を維持するために必要な費用と比べて決して高くありません。

また、運転免許証を持っていない人との公平性も考えると、無料期間を引き延ばすのは、今後の課題とします。

タクシーの割引制度については、県の事業ですので、市単独での割引は難しいと考えています。

運転技能の低下によるリスクが高まっている状態を家族で話し合う、自発的に返納してもらえよう、情報提供に努めていきたいと考えています。



明祥中学校
磯村 空議員

介護する側、される側、すべての人が安心して暮らせる市にするためには

問 介護施設で働く人の確保について、どのように考えていますか。

また、高齢化社会に対して、市はどのような対策を講じているか教えてください。

答 人材確保については、非常に厳しい状況です。介護の必要度の低い人などを対象に、あんジョイ生活サポーター養成講座を開催し、掃除や調理などのお手伝いをする人を養成しています。



また、高齢化対策については、ひとり暮らしや要支援高齢者に対する地域住民による見守り活動、医療や介護の専門家・社会福祉協議会などと連携してサポートする「地域包括ケアシステム」という体制づくりを進めています。



安城西中学校
神谷 朋花議員

デンパークのイベントについて

問 デンパークの良さをもっと多くの人に知ってもらうため、SNSを活用してみようと思いますか。

また、どのようなイベント等を行っていくつもりなのかお聞かせください。

答 デンパークでは、公式ウェブサイトやフェイスブックなどのSNSを活用し、デンパークの様子やリアルタイムなイベント情報などを、ほぼ毎日、発信しています。

今後も多くの人がデンパークに行きたくなるよう、魅力的な情報を積極的に発信していきます。

また、今年度は、開園20周年を記念して、特別なイベントを実施するとともに、「子どもも楽しいデンパーク」を合言葉に、風車の広場一帯をリニューアルしています。

今後もデンパークの魅力をさらに向上させていきますので、どうか家族皆様でお越しいただきたいと思っています。



桜井中学校
坂 亮叶議員

高齢者とkinunaを深める取り組みについて

問 高齢者を地域で孤立させないための取り組みと、若者との「たて」のつながりをつくるために取り組みんでいることをお聞かせください。

答 全町内に、地域の福祉を推進するための町内福祉委員会があり、地域住民による支援の必要な高齢者の見守り活動を推進しています。

また「サロン」という高齢者が集まる交流の場を設けるなど、地域において高齢者が孤立しない取り組みを行うとともに、若者との「たて」の



つながりをつくる取り組みとして、現在、町内会のイベントなどに多くの中学生がボランティアとして参加し、交流している地域もあります。多世代が交流できる取り組みが、さらに広がるよう進めていきたいと考えています。



東山中学校
坂部 佑弥議員

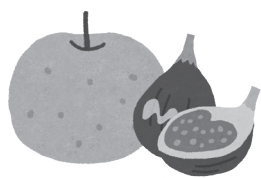
もっと安城市を知ってもらうために

問 市の認知度を向上させるために考えていることをお聞かせください。

答 人が集まる活力あるまちを目指して、アンフォールの活用をはじめ「魅力づくり」を積極的に進めるとともに、より多くの人に本市を好きになってもらい、誇りを持つていただけるように「シティプロモーション」に力を入れていきたいと考えています。

なお、この「シティプロモーション」については、今ある観光施設や、イベント、農畜産物等の地域資源を磨き上げ、どのように活用していくかが鍵となります。

このことを踏まえ、発信力と魅力ある取り組みが行えるよう今後、一層研究していく必要があると考えています。



安祥中学校
大野 晃暉議員

災害時の中学生に求められる役割について

問 災害時に中学生に求められる行動とは何か、その行動を知ってもらうための取り組みについてお聞かせください。

また、被災地における支援活動体験は可能ですか。

答 災害時には、中高生の皆さんは、まず自分の命を守り、家族の安全を確認してください。その後、避難所などで、自主防災組織や地域の人たち、学校の先生などと一緒に、救援物資の配布、炊き出し、ケガ人の応急手当などで貢献していただきたいと考えています。

被災地での支援活動は、危険を伴いますので困難ですが、毎年、中学生防災隊防災教室を全中学校で開催し、災害時の話や応急手当体験などで、防災に関する知識や行動を身につけてもらっています。

今後は、多くの中学生に参加していただけるよう工夫していきますので積極的に参加してください。



篠目中学校
垣内 春乃議員

人と関わる場の設定について

問 最近、学校に行くことができない子が増えていることをニュースなどで耳にします。心の健康という点で、どのような支援をお考えか教えてください。

答 市が考える健康の実現のためには、心の健康は非常に大切なことです。

不安や悩みがあっても、学校に行けない子どもたちには、市教育センター内のふれあい学級で自分を見つめ直し、人との関わり方を学び、学校復帰を目指していきます。

なお、義務教育を終えた若者のひきこもりの対策としては、複数の市民団体が自分らしく過ごせる居場所を開設し、支援しています。

今後は、「子ども・若者支援地域協議会」を立ち上げ、各団体と連携し、若者の相談にのったり、次のステップに進むための準備などができる居場所を増やし、社会にいたることをできるようしていきたいと思っています。



安城南中学校
岩永 将英議員
いわなが しやうえい

明用水自転車道の利用について

問 健康都市を目指すにあたり、自転車を上手に活用できるまちにするため、自転車道の幅を広くするなどの対策をしてはどうでしょうか。

答 環境にやさしい自転車の利用を促進するため、安全で快適に走行できる道路整備等に取り組んでいます。自転車道の拡幅や、歩行者道と交差する箇所の修整など、容易に行えないところもあります。したがって、隣接する樹木のせん定をするなど工夫して、自転車が走りやすい幅と十分な視界を確保していきたいと思っています。

一方、自転車に乗る際には、交通ルールやマナーを守ること大切です。交通ルールやマナーを守るためには、こうしたら良いのか生徒会などで話し合い、安全意識を高め、一緒に自転車を上手に活用できるまちを作っていきます。



東山中学校
杉浦 健斗議員
すぎうら けんとう

経済的な理由で大学進学を諦める高校生が多い現実について

問 大学進学を諦める高校生が多いという現実を踏まえ、頑張った人が報われ、幸せを実感できる市となり、「幸せつながる健康都市・安城」の実現に近づけていたいただきたいと思うのですが、市の考えをお聞かせください。

答 本市では、小中学生への就学援助のほか、高校生にも、返済不要の奨学金や私立高校などに通う生徒への授業料の補助を行っています。国では、大学生の現状や課題等を踏まえ、大学進学を目指す高校生に対し、返済不要の奨学金を導入するなど充実を図る予定ですので、国の議論の結果を待ち、市の対応を考えたいと思っています。

次世代を担う子どもたちが、家庭の愛情を受け、社会の見守りや支え合いにより、幸せな成長を遂げ、自立した責任感ある社会人に成長していくことを願っています。



安城北中学校
大山 楓乃議員
おおやま ふうの

スポーツ振興事業について

問 小中学生が気軽にスポーツを楽しむ環境が少ないと思うので、スポーツ公園や地区ごとに体育施設を設置するのはどうですか。

答 現在、それぞれの町内には、子ども会活動やソフトボールの練習をすることができ程度の公園があります。

また、体育施設の設置については、まず、どこにどのような施設が必要なのか、多くの費用をどのように工面するのかなど、慎重な検討が必要となりますので、現時点では、既施設を有効活用していただきましたと思っています。

新施設の設置については、市全体で取り組むことですので、市民の意見も広く聞きながら、研究してまいりたいと思います。



桜井中学校
鳥山 来瞳議員
とりやま くるみ

健康にすぐせるまちづくりについて

問 身近なところから健康への意識を高めていくために、例えば階段を昇降する際に、運動効果の表示をするなどしてはどうですか。また、その他の対策は考えていますか。

答 身近な運動がもたらす効果を目に見える形で伝えることは、健康づくりの「きっかけ」となり、市民の自発的な行動につながると考えますので、ご提案いただいた、階段利用による消費カロリー表示を、市役所庁舎に設置していきます。

なお、本市では、身近な運動の場として、各種ウォーキングコースを設定しています。中でも「健康の道」は、市公式ウェブサイト上で、コースの長さや速度に応じた消費カロリーを記載しておりますので、ご活用いただきたいと思います。



篠目中学校
日下 翔太議員
くさか しょうた

マーマイドパレスの利用について

問 冬期の利用促進と今後の取り組みを教えてください。

また、利用客が多い夏休みの期間中は、JR安城駅からシャトルバスを運行してはどうですか。

答 冬期は、利用客の多い夏期にできなかった水泳教室を重点的に開催したり、季節ならではのイベントを行っています。

今後は、各種ゲーム大会の拡充や新聞の折込等によるPRの強化など、可能なものから取り組んでいきます。



また、シャトルバスの運行についてですが、夏期で当施設への来場者が多い日には、安全面の配慮から入場制限を実施していること、費用に見合うバス利用者があるかなど十分に検証し、導入できるかどうかを検討していきます。



安祥中学校
大見 梨乃議員
おおみ りの

PR動画の普及から本当のPRへ

問 市外の人、本市のPR動画をYouTube以外で見える機会はありませんか。



市のPR動画

また、PR動画を見た市外の人、本市に興味をもち、もっと知りたいとなつたとき、どのようなことができますか。

答 市外の人にPR動画を見てもらう手段は、YouTube以外はありませんが、現状では、宣伝費用をかけず、広範囲にわたって多くの人に見てもらえる最も効果的な方法だと思っています。

興味を持ってくれた市外の人には、本市への移住又は定住を図るために策定した「総合戦略」に基づき、目標を掲げて様々なライフステージにあった事業を行っています。取り組みについては、市公式ウェブサイトなどで情報発信しています。



明祥中学校
沓名 美奈議員
くさな みな

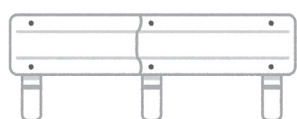
誰もが安心して住みやすいまちにするために

問 歩道の段差を解消することや、道幅を広げるなど危険な箇所について、道路整備を行ってほしいのですが、こうしたらよいのでしょうか。

答 道路における凸凹や壊れた箇所については、日常行っている道路パトロールや、市民からの通報などに対処して、安心して通行できる道路の維持に努めています。

市内には81の町内会があります。各町内会からは凸凹の舗装を直す、通学路にガードレールを設置するなど各種の道路整備や改良の要望をいただいています。可能な限り要望に対応する工事を実施していきます。

今後、道路の危険箇所につきましては、事故防止のための対応を実施し、安全性を確保していきたいと考えています。



篠目中学校
大岡 順平議員
おおおか じゅんぺい

地域の安全について

問 事故や犯罪の件数が多いとされる現状について、どのような対策をとっているのでしょうか。

答 地域のことは地域の人が一番よく知っていることから、交通安全対策や防犯対策については、地元町内会の方々と相談し、協議しながら進めています。

また、市民に交通安全・防犯の意識を高めてもらうため、小中学校などで交通安全教室や防犯教室などを行っています。

なお、地域の安全を守るため、交通安全や防犯のリーダー育成、町内会への防犯灯や防犯カメラの設置補助などの取り組みを安城警察署などと協力して実施しています。

情報発信については、市公式ウェブサイトや広報あじょうに掲載するとともに、安全・安心情報メールを活用するなど、伝達方法の充実に努めてまいります。





安城西中学校
いしはら
石原 梨乃議員

お年寄りの方が安心して住むためのまちづくりについて

問 お年寄りが住みやすいまちという視点で、あんくるバスを含む公共交通機関や道路の整備について、どのように考えていますか。

答 本市の公共交通は、ＪＲ安城駅、三河安城駅と名鉄新安城駅、桜井駅の４つの鉄道駅を拠点として、あんくるバスに加え、名鉄路線バスやあんくるタクシーが地域を結んでおり、他市と比較して充実していると考えています。限られた予算の中で、バスの本数や路線を増やすことは困難ですが、現在の公共交通網を維持し、市民の意見を聴きながら、少しずつ改善していきたいと考えています。

また、歩行者と自転車に分ける整備としては、車道の左側に自転車走る青い矢羽根を表示することで、高齢者が安全に歩道を通行できます。今後も住民の誰もが住みやすく、安全安心なまちを目指していきます。



桜井中学校
おおや
大館 若菜議員

市の広報活動について

問 市の取り組みを市民に情報発信していくためにどのような工夫をしていますか。

答 市では全ての世帯に配布する「広報あんじょう」をはじめ、市公式ウェブサイト、フェイスブックなどのSNSによる情報発信をしています。



「広報あんじょう」では、市民に伝えたい情報を、グラフや写真を使ったり、特集を組んだりして、分かりやすくお伝えするようにしています。市公式ウェブサイトでは、スマートフォンでも見やすい画面を作り、いつでもどこでも情報を見られるよう工夫もしています。

また、市長が市内の施設へ出向き、地域の皆さんからご意見をいただく機会があり、集まった人たちの前で、市長から直接、市の取り組みなどを分かりやすく報告しています。



安城南中学校
いわま
岩間 考紀議員

市の高齢化対策について

問 特別養護老人ホームや民間の老人ホームを活用した待機者ゼロに向けた高齢化対策について教えてください。

答 特別養護老人ホームは、原則として介護の必要性が高く、自宅での生活が困難な人が入る施設です。特別養護老人ホームに入る必要性が高い待機者数は、平成28年4月1日現在、123人でした。現在、市内では定員100人と定員29人の2つの特別養護老人ホームを建設中です。完成すれば、優先度の高い待機者は解消される予定です。



高齢化が進んでいることや、消費税の引き上げが先送りになったことで、財政的にも厳しくなり、介護保険制度の運営はますます難しくなっています。高齢者やその家族が安心して暮らせるように取り組んでいきます。



東山中学校
おおにし
大西 花歩議員

市の交通安全について

問 信号機のない横断歩道に信号機を設置することはできないのでしょうか。

答 毎年、町内会などから、押しボタン式信号機の設置要望を多くいただいておりますが、信号機設置を所管する警察の予算の関係上で、年に1基程度しか設置されていないのが現状です。この先も押しボタン式信号機の増設は期待できないため、市では、横断歩道付近への注意看板の設置や、通学時間帯に交通指導員を配置するなどの対策をとっていきます。



また、ドライバーには、「横断歩道は歩行者優先」という意識を持つてもらえるよう、警察や商工会議所などの協力を得て、広く働きかけるとともに、交通ルールの遵守やマナーの向上を呼びかけていきますので、ご協力をお願いします。



安祥中学校
ながさわ
永友 悠雅議員

子ども110番の認知度向上について

問 小中学生が安心して安全な生活を送るための対策や、子ども110番の認知度を高めるための具体的な施策はありますか。

答 市内には、1118か所の子ども110番の家があり、今後も増設に向けて積極的に活動していきます。



子どもたちの健全な育成を推進するために、小中学校には健全育成会が設置されており、学校の先生をはじめ、地域の方々がメンバーとなり、地域の安全パトロール、あいさつ運動、防犯教室等の活動を行っています。

昨年度、青少年の家では、市内のコンビニエンスストアに依頼し、多くの店舗にこども110番の家を設置していただきました。今年度は、商工会議所の会員事業所に依頼していく予定です。



安城北中学校
かねこ
兼子 侑介議員

誰にでもやさしい商店街について

問 子どもやお年寄りなど誰もが使いやすい商店街にするため、道路のバリアフリー化や、ベビーカー置き場を設置するなどの取り組みはどのような形で進めていますか。

答 商店街を結ぶ多くの人が利用する道路は、使う人すべてが利用しやすいものであるべきだと考えます。道路に段差などがある場合は、その都度、補修していきます。また、歩道上に看板などが設置されている場合は、移動させるよう指導しています。

店舗内へのベビーカー置き場や授乳室などの設置については、店舗にご協力をお願いしたり、空き店舗等を活用したりすることが考えられます。

小さな子どもからお年寄りまで、誰もが安心して快適に利用できる場所にする事で、多くの人に足を運んでいただける商店街になると思います。



安城西中学校
やまざき
山崎 美空議員

子どもの体力向上と遊び場の確保について

問 子どもが外で遊ぶ習慣を身に付け、遊びを通じて体力を向上させる取り組みについての考えを教えてください。

答 本来公園は、誰もが自由に遊んだり、休んだりできる憩いの場ですが、グラウンドのある公園では、必要な施設を設置し、利用できる種目を決めています。種目については、市公式ウェブサイトに掲載していますが、分かりにくい部分もありますので、市民に伝わるよう改善していきます。

公園づくりにおいては、市民の意見を反映し、地元に着目を持ってもらえるよう、話し合いによる計画づくりを実施しており、安全性や、災害時の利便性などを



考慮して、子どもからお年寄りまで、快適に遊べる環境づくりの取り組みを推進しています。



明祥中学校
まえひら
前平 貴史議員

安全、安心なまち。交通事故「ゼロ」を目指すために

問 交通安全の意識をさらに高めていくために、各中学校の生徒会が中心となり、交通安全会議を開催し、また、交通安全に対する意識向上を図ってみてはどうでしょうか。

答 生徒会が中心となって、交通安全意識の高揚を図る取り組みを行うことで、「自分たちの命は自分たちで守る」という意識がより高まっていくものと考えます。

今後、「交通安全会議」の開催も含め、学校間で交通安全に関する活動が展開されますよう、期待するとともに、市としましても「交通安全会議」などで出た意見や提案に



つきましては、広報あんじょうへの掲載や、交通安全推進協議会主催の「交通安全市民大会」での発表など、積極的に協力していきたいと考えております。

～ “未来・夢”中学生議会を終えて～

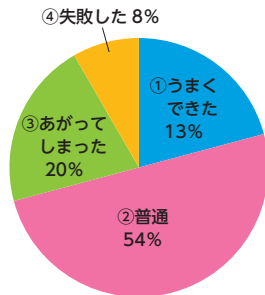
中学生議会終了後、中学生議員にアンケートを記入してもらいました。アンケート結果の主な内容を掲載します。

Q1 今回の議会に出席する前の「市議会」に対するイメージを教えてください！

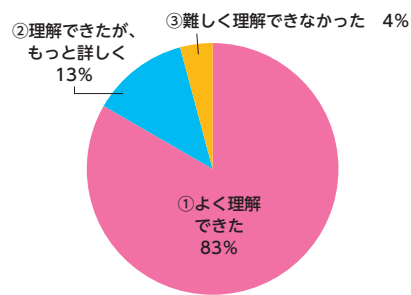
- ・ 儀式のようにきっちりしている
- ・ かたくしく、難しいことを話す場
- ・ 自分とはあまり関係のないもの

Q2 中学生議会での質問、答弁について

★ 質問の出来はどうでしたか？



★ 答弁の内容は理解できましたか？



Q3 質問に対する答弁についてどう思いましたか？

- ・ 一つひとつ丁寧に答弁してくれて嬉しかった
- ・ 中学生の意見でも真剣に考えてくれて嬉しかった
- ・ 提案内容について深く考えてくれてよかった
- ・ 質問の言葉が足らず、聞きたいことが聞けず残念だった

Q4 中学生議会に参加した感想を教えてください！

- ・ 市のことをよく知るきっかけになったし、もっと深く知りたくなった。
- ・ 市政にもっと深く関わり、市、ひいては国をよくしていきたいと思った。
- ・ 私たちも市を支える1人として、積極的に行事に参加したり、意見を出していきたい。



講評

教育長 杉山 春記

中学生議員の皆さん、大変お疲れ様でした。〃未来・夢〃中学生議会は、どうでしたか。24名全員の質問や提言を聞かせていただきましたが、皆さんが堂々とした態度で、しっかりと自分の言葉で発表できていたことに感銘を受けました。学習や部活動のある忙しい中で質問書を作成し、それを発表するための練習は大変なことだったと思いますが、皆さん、とても素晴らしい質問ができたと思っています。

市の未来を描いた総合計画と同じ視点で、質問や提言ができたということは、皆さんが、市の将来を真剣に考えているということであり、それだけ市のことを大切に思っているということだと思います。自分の住んでいるまちをこのように思える皆さんを私は誇りに思います。

皆さんにとって、今回の〃未来・夢〃中学生議会に参加したことは、貴重な財産になるはずです。この経験を生かして、これから心身ともに成長してほしいと思います。